



自然豊かな高知県三原村で ユズ農家を始めませんか？

●三原村ってどんなところ？

三原村は、高知県の西部に位置し、標高120mの台地状の山村、水田の基盤整備率は県内でもトップクラスを誇ります。

米どころとして、「みはら米」が有名です。平成16年にどぶろく特区に認定され、三原米を使用して、7軒の農家がどぶろくの製造を行っています。

また、近年では、ユズの栽培が行われ、村として栽培・生産・加工までの取り組みも始まりました。

<ヒメノボタン>



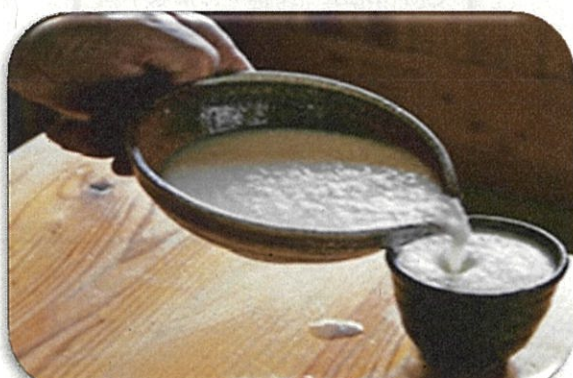
高知県絶滅危惧種の花の生息地として有名です。9月上旬が見頃です。

<みはらのじまんや>



特産品や日用雑貨、生鮮食品の販売をしています。

<どぶろく>



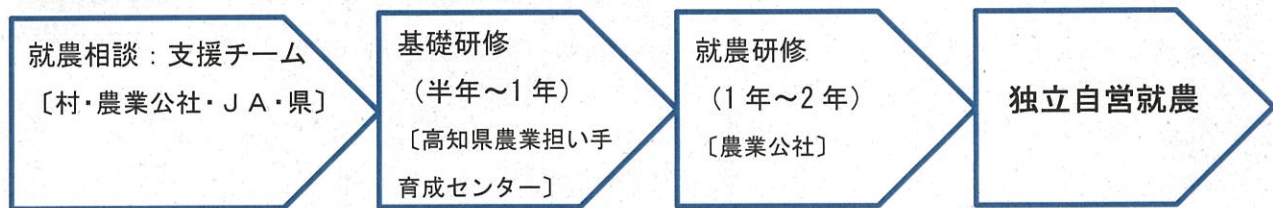
7軒の農家が造るどぶろくはそれぞれ違った味が楽しめます。毎年11月3日に、どぶろく農林文化祭を開催しています。

<土佐硯>



良質の黒色粘板岩から造られ、書道家より高い評価を受けています。

●就農までの流れ（Iターン就農）



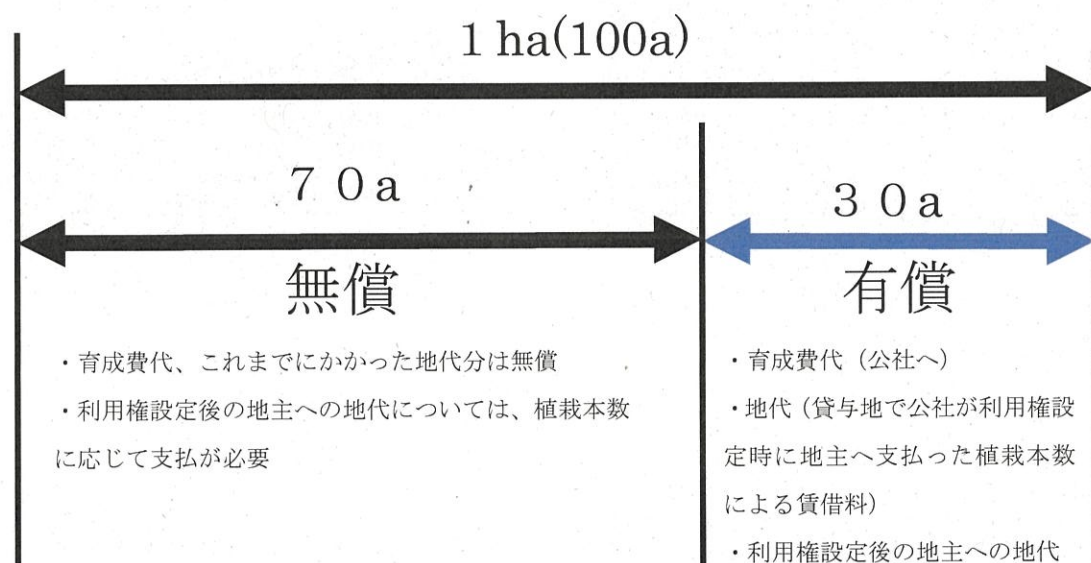
※高知県農業担い手育成センター（四万十町）で農業の基礎知識・技能等を学べます。
 ※研修終了後の就農時には、農業公社が育成したユズ園を、農業公社から提示された園地の範囲から約1ha（ただし、ユズ400本相当）までは、貸与できます。

研修終了後に貸与されるユズ園（場所等要相談）

公社で5年間育成した園地を約1ha（400本相当＝40本植/10a）まで貸与する
 ※公社が育成した園地分での出荷については、公社及びJAに出荷すること（確約書）。

※上記以外にもその他要件があります。

○1haの園地貸与にかかる支払イメージ図



○利用権設定・・・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃貸借のこと。

●就農5年後のユズ農家の作業体系と経営モデル

作物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ユズ	整枝・剪定				収穫							
	草刈・薬剤散布・摘果・トゲ切り・施肥など											
ブロッコリー	定植・トンネルなど設置		収穫		畑片付け		育苗・畑準備					
	換気・薬剤散布・施肥など											

※ブロッコリー栽培用の水田の確保についても支援をします。

経営面積		売上高		支出合計	所得
ユズ	1 ha	ユズ	399万円	265万円	260万円
ブロッコリー	30 a	ブロッコリー	126万円		

〈経営モデル試算の条件〉

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません

■ユズ植栽本数：400本（40本/10a）

就農5年目には、植栽10年目に達する成木

■公社への支払（30a）分：育成費、公社がこれまでに地主に払った地代（遡り）分 ※地主への地代分

■10a当たり収量：1,600kg ■家族労働力：1人 ■ユズ青果率50%

■年間総労働時間：約1,700時間（雇用約100時間含む）

ブロッコリー

■必要主経費：作業委託料、地代 等

■10a当たり収量：1,200kg ■家族労働力：1人

■年間総労働時間：約770時間（雇用なし）

●三原村の求める人材

- 農業に積極的に取り組む意欲のある方
- 地域活動に積極的に参加できる方
- 就農への家族の理解や協力が得られる方
- 三原村に移住し、ユズ農家として就農される方
- 就農前に原則として、基礎研修・就農研修を受けられる方
（18歳以上60歳未満）

※研修受入は面談などにより決定します。

※必要に応じて体験研修を実施し、適性能力を判断します。

●行政の支援内容

<研修中>

- 国、県の支援制度を活用して、最長2年間、年180万円以内を支給します（受給には要件があり、研修終了後1年以内に就農しなかった場合等は返還）。
- 研修期間中は、村の「移住促進共同住宅」を利用することができます。
- 研修中に、ご本人の要望をお伺いしながら住居確保の支援をします。



移住促進共同住宅の外観



部屋の様子（20.1㎡）

※共同スペースで他の利用者と情報交換も行えます。また、個室には、家具（冷蔵庫・キッチン・洗濯機、エアコン等）があり布団一式あれば、すぐに生活できます。

<就農時・就農後>

- 国の農業次世代人材投資事業（経営開始型）として最長5年間、年額150万円（変動あり）を支給します（年齢45歳まで。その他受給要件あり）。
- 経営開始後も、村、JA、JA生産部会員、県、農業公社が栽培技術等継続して支援します。

●先輩から

京都府から1ターンで三原村に来ました。

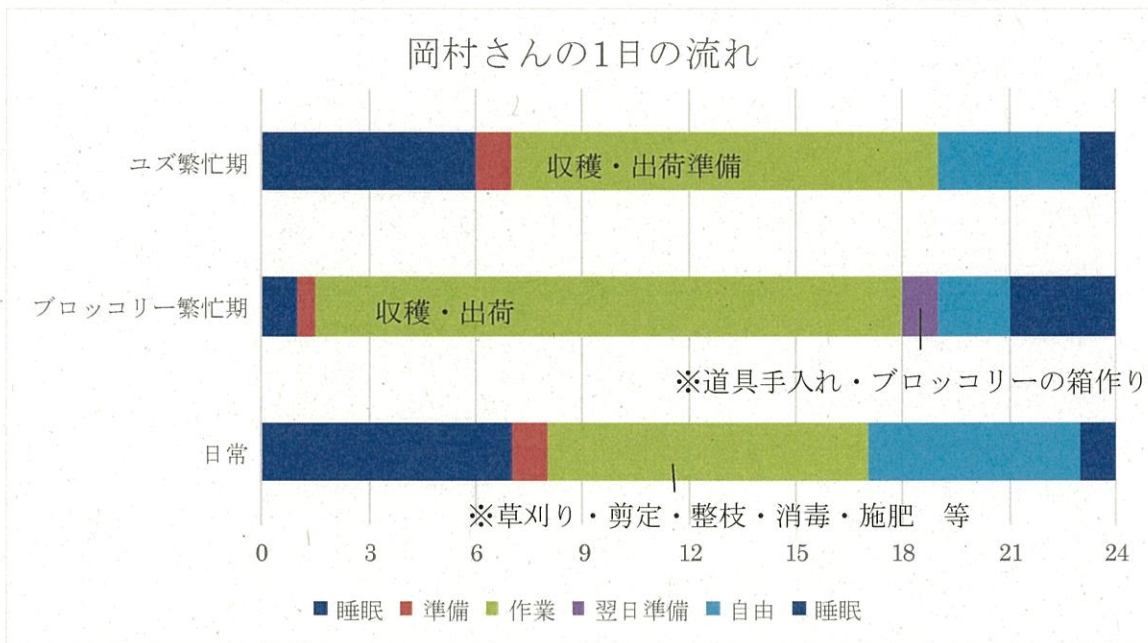
高知県農業担い手育成センターで、約1年間農業の研修を受け、その後農業公社で約2年間、ユズを中心にブロッコリー・オクラの研修をしました。

平成29年4月から、独立自営就農して、現在はユズとブロッコリーの複合経営を行っています。

自分がやればやるほど結果が見える職業なので、やりがいを感じています。



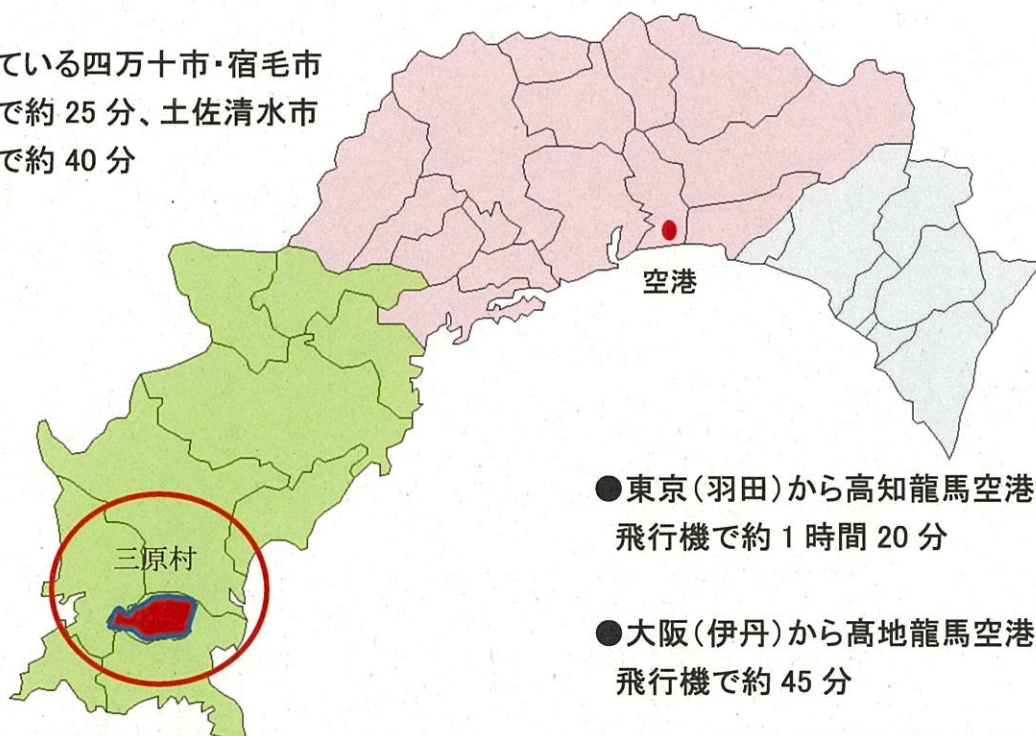
岡村さん



●位置図

●高知龍馬空港から、車で約3時間

●隣接している四万十市・宿毛市
まで車で約 25 分、土佐清水市
まで車で約 40 分



●東京(羽田)から高知龍馬空港まで、
飛行機で約 1 時間 20 分

●大阪(伊丹)から高知龍馬空港まで、
飛行機で約 45 分

問い合わせ先

〒787-0892 高知県幡多郡三原村来栖野346

三原村担い手育成総合支援協議会事務局(農林業建設課) 担当: 藤本

TEL: 0880-46-2111 FAX: 0880-46-2114

